

# 八雲町熊石国民健康保険病院経営強化プランの概要

## 1. 経営強化プラン策定の趣旨

八雲町熊石国民健康保険病院は、国が策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、病院経営の効率化を図り、現病院から新病院への持続可能な病院運営に道筋を示し、将来にわたり地域住民に良質な医療を提供していくため「八雲町熊石国民健康保険病院経営強化プラン」を策定し、プラン実現に向けて取り組みます。

## 2. 経営強化プランの対象期間

令和5年度 から令和9年度の5か年

## 3. 経営強化プランの概要

### (1) 役割・機能の最適化と連携の強化

①地域医療構想等を踏まえた本院の果たすべき役割・機能	<p>地域の医療需要の中心は高齢者であることから、慣れ親しんだ地域や自宅で生活が送れるよう、当院は回復期医療を新たに導入して在宅復帰を支援します。また、急性増悪や救急車の受入れに対応するため、一定程度の急性期機能を維持する必要があります。</p> <p>当院は建替事業を進めており、プラン対象期間中に新病院開院を予定しています。新病院の病床数は、現在の急性期病床99床から、回復期病床20床と急性期病床10床を合わせた計30床に最適化し、地域に密着したかかりつけ医としての役割を担います。</p>
②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能	<p>当院はかかりつけ医として地域住民に近い存在であることを目指し、生活支援や介護予防へ医療面から積極的にかかわり、地域包括ケアシステムの推進に取り組んでいます。</p> <p>また、地域の医療需要と介護需要の推計を見据え、医療機能を併せ持つ生活施設への転換を比較容易にできる施設構造を設計しており、ケアシステムの維持に貢献します。</p>
③機能分化・連携強化	<p>主たる病院機能は急性期から回復期へ転換して、地域住民の在宅復帰支援に取り組み、他医療機関から急性期経過後の患者受け入れに対応します。</p> <p>また、急性期病床は、在宅や介護施設等で急性増悪した患者の受け入れを継続し、高度急性期治療や専門的治療が必要な患者については、地域センター病院の八雲総合病院や函館市内の高次機能医療機関との連携強化を推進し、前方支援体制を維持します。</p>
④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	<p>当院が果たすべき役割と医療機能を発揮し、圏域内外における他医療機関等との連携を強化する観点から、救急車受入件数、訪問診療件数、在宅復帰率、紹介率、健康診断件数について数値目標を設定します。</p>
⑤一般会計負担の考え方	<p>持続可能な病院運営を確保するために、国の定める繰出し基準の範囲内に加え、町の財政状況を見ながら基準外繰り入れの考え方と確保について協議を継続します。</p>
⑥住民の理解のための取組	<p>病院の経営状況等については、町広報誌やホームページなどによる情報発信に努めます。</p> <p>八雲町熊石国民健康保険病院運営委員会において、情報提供、意見交換を行い、当院に対する要望等の把握に努めます。</p>

## (2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

①医師・看護師等の確保	<p>医師は常勤医師3名体制を実現するため、関係機関への招聘活動や求人募集を継続し、引き続き全力で取り組みます。また、診療体制の充実と常勤医師の負担軽減のため、非常勤医師の安定確保に努めます。</p> <p>看護師については、奨学金制度を活用した正職員の募集と会計年度任用職員制度など多様な方法で確保に取り組んでいます。入院基本料の上位算定を目指した人員確保に取り組み、併せて看護部全体の勤務環境の改善を図ります。</p>
②医師の働き方改革への対応	<p>令和6年4月施行の医師の時間外労働規制に向け、宿日直許可申請など必要な対応を行い、常勤医師の身体への負荷について十分に配慮し、健康管理に努めます。</p>

## (3) 経営形態の見直し

<p>不採算地区での地域医療を確保する必要があることから、現在の経営形態である地方公営企業法の一部適用を維持します。</p>
----------------------------------------------------------------

## (4) 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取り組み

<p>今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大時に、感染症病床の確保、発熱外来の設置、抗原検査・PCR検査の実施やワクチン接種などを担い、かかりつけ医として感染症対策に取り組んでいます。また、圏域の感染症指定医療機関の八雲総合病院との連携により、重症化リスクが高い患者の受け入れなど支援をいただいています。</p> <p>新病院においても新興感染症に対応できる入院・外来の施設機能を備え、平時より感染症対策に取り組んでいます。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## (5) 施設・設備の最適化

①建替事業について	<p>本院建設から50年以上が経過して老朽化が著しい状況にあります。機能的・効率的ではない施設構造、耐震基準以前の建物でスプリンクラー設備が未整備であることから、施設建替えによる抜本的な更新を行う必要があります。</p> <p>地域人口の減少や医療人材の減少リスクを十分に考慮する必要があり、持続可能な病院運営を見据え、新病院の病床数は現有99床から30床に縮減します。</p> <p>事業費は25億4百万円程度を見込み、昨今の経済情勢の影響で当初予定額を大きく上回る状況にあります。実施設計の段階で工事費の適正化に取り組めます。</p>
②新病院の概要	<p>新病院は町有地への移転建替とし、延べ床面積は3,330.33㎡、地上2階建て、病床数30床を計画し、令和7年6月を開院予定として建替事業を進めています。</p>
③デジタル化への対応	<p>医療分野において急速に発展する様々なDXについて、当院は電子カルテなどの統合系医療情報システムの導入、マイナ保険証によるオンライン資格確認の利用促進、オンライン診療の導入など、デジタル技術の活用を推進します。</p>

## (6) 経営の効率化

①経営指標に係る数値目標	<p>現病院からダウンサイジングした新病院が開設することから、現病院の課題解決と新病院移行後の適正化された病院規模での数値目標を定め、持続可能な病院運営に努めます。数値目標は、収支改善に係るもの、収入確保に係るもの、経費節減に係るもの、経営の安定性に係るものと設定します。</p>
②目標達成に向けた具体的な取り組み	<p>回復期医療は、地域包括ケア病床を稼働して入院基本料の向上に取り組み、急性期医療は、急性期一般入院料への上位算定を目指します。外来診療は、リハビリテーション機能の活用で診療報酬の算定増による診療単価の改善を図ります。</p> <p>経費削減については、材料費の適正化に取り組めます。医療用薬品や診療材料の適正購入と管理に努め、段階的に材料費比率の減少を目指します。</p>

③経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等

収益的収支

(単位：千円)

科 目		令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収 入	1. 医業収益	697,612	587,776	640,710	664,543	676,136	678,020	674,118
	(1) 料金収入	626,821	527,522	574,376	598,275	609,934	611,884	608,048
	(2) その他	70,791	60,254	66,334	66,268	66,202	66,136	66,070
	2. 医業外収益	210,154	269,446	193,882	169,569	174,186	170,186	148,186
	(1) 他会計負担金	105,180	107,409	136,383	136,383	141,000	137,000	115,000
	(2) 他会計補助金	14,180	13,551	14,200	17,886	17,886	17,886	17,886
	(3) 国道補助金	75,384	135,191	33,000				
	(4) 長期前受金戻入	10,457	8,037	5,299	10,300	10,300	10,300	10,300
	(5) その他	4,953	5,258	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	経常収益 (A)	907,766	857,222	834,592	834,112	850,322	848,206	822,304
支 出	1. 医業費用	845,157	837,641	822,292	847,002	818,318	814,703	787,494
	(1) 職員給与費	438,313	444,011	456,762	469,694	463,694	461,441	421,441
	(2) 材料費	219,389	203,998	197,274	203,016	177,316	175,712	174,728
	(3) 経費	117,615	128,144	110,000	108,900	97,811	96,732	95,664
	うち委託料	69,671	69,195	70,356	70,271	59,569	58,873	58,184
	(4) 減価償却費	39,138	32,558	26,878	33,700	47,488	49,130	64,289
	(5) その他	30,702	28,930	31,378	31,692	32,009	31,688	31,372
	2. 医業外費用	36,126	36,650	32,368	33,797	30,921	32,209	32,539
	(1) 支払利息	2,809	2,559	2,382	2,939	3,969	5,501	5,980
	(2) その他	33,317	34,091	29,986	30,858	26,952	26,708	26,559
経常費用 (B)	881,283	874,291	854,660	880,799	849,239	846,912	820,033	
経常損益 (A)－(B) (C)	26,483	▲17,069	▲20,068	▲46,687	1,083	1,294	2,271	
特別 損益	1. 特別利益 (D)	5	22,611	12,000	50,000			
	2. 特別損失 (E)	1,164	2,291	800	800	800	800	800
	特別損益(D)－(E) (F)	▲1,159	20,320	11,200	49,200	▲800	▲800	▲800
純損益 (C)＋(F)	25,324	3,251	▲8,868	2,513	283	494	1,471	
累積欠損金 (G)	654,439	651,188	660,056	657,543	657,260	656,766	655,295	

資本的収支

(単位：千円)

科 目		令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収 入	1. 企業債	13,900	4,400	108,900	2,032,700	135,700	37,900	27,800
	2. 他会計出資金	22,652	33,421	59,949	104,384	29,070	39,138	34,378
	3. 補助金	6,248	2,750					
	4. その他							
収入計 (A)	42,800	40,571	168,849	2,137,084	164,770	77,038	62,178	
支 出	1. 建設改良費	27,669	39,168	150,661	2,137,802	139,850	42,097	28,229
	2. 企業債償還金	23,769	23,210	25,937	25,363	36,140	56,134	54,420
	3. その他	2,640	2,040	1,200	2,040	2,040	2,040	2,040
	支出計 (B)	54,078	64,418	177,798	2,165,205	178,030	100,271	84,689
差引不足額 (B)－(A)	11,278	23,847	8,949	28,121	13,260	23,233	22,511	

(7) 経営強化プラン策定後の点検・評価・公表

経営強化プラン策定後の各種取り組み実施状況は、八雲町熊石国民健康保険病院運営委員会において報告し、点検・評価、その後の方針について検討を行います。  
評価結果等はホームページ等で公表します。